

最優秀賞

t v k かながわMIRAI賞

えがおがすてきなパンやさん

寒川町立寒川小学校

三年 関屋 愛 絆

わたしのおばあちゃんの家の近くにおいしいパンやさんがあります。でもはじめて行った時に、なんだか今まで行ったことのあるパンやさんとちがうような気がしました。その時はだれにも聞かなかったけれど、次に行った時にお母さんに聞いてみることにしました。

「このパンやさん、なにかちがうよね。」
と聞くと

「ここはしようがいをもっている人たちが働いている所なんだよ。」
と言われました。

わたしはしようがいという言葉の意味がよくわからなかったので、国語じてんで調べてみ

ることにしました。何かをする時に、じゃまになるものごと。さまたげ。体のきのうが十分に働かないこと。と書いてありました。お母さんにくわしく聞いてみると、そのパンやさんはしょうがいのある人の働く場、き会を通してさぎょうくん練やしゅうろうしえんをしていると教えてくれました。お会計の時にキヨロキヨロしていたり、何度も同じことを言っていたのでどうしたのかなと思っていたけれど、自分で調べたりお母さんに話を聞いて理由がわかったのでよかったです。

世の中にはいろいろな人がいます。目や耳が自由な人、車イスに乗っている人、手話を使う人。わたしもにがてなことがたくさんあります。でもできないことをばかにするような人がいたら悲しいです。パンやさんと働いている人たちはみんなにこにこえがおでした。えがおがすてきなので、わたしはそこへ行くとすぐ幸せな気持ちになります。人を幸せな気持ちにできるのはすごいことだと思うし、わたしもえがおでだれかを幸せにできるようになれたらいいなと思います。